

米国産牛肉 輸入問題

米BSEの危険隠す政府の責任は重大 国民の安全 最優先の対策を

日本共産党

参議院議員 紙智子

かみともこ

農水省がひた隠す資料を暴露

訪米調査をふまえ



質問する紙議員=3月8日、参院予算委

日本政府は、BSE（牛海綿状脳症）感染の恐れがあると知りながら、米国産牛肉を国民に食べさせてきた。日本共産党の紙智子参議院議員は、農水省がひた隠す数々の秘密を、国会で白日のもとにさらしました。

米農務省や市民団体などと懇談。農務省では、安全管理体制をめぐり、二時間もやりとりしました。調査の成果は、質問に生かされました。

紙議員は、米農務省食品安全検査局が作成した「BSE違反記録」を入手。三月八日の参院予算委員会で膨大な文書の中から、日本に輸出している食肉工場が、農務省が定めた危険部位除去手続きに常習的に違反していた事実をあげました。



米農務省の幹部と懇談する紙議員=2月21日

紙議員は、米国のさまざまな安全管理体制を指摘し、政府を追及。中川昭一農水相や川崎二郎厚労相は、概要報告を受けただけだと認め、内閣府の食品安全委員会も、まったく議論せずに、「ゴーサイン」を出したことが

明らかになりました。紙議員は三月四日、米国でBSE牛が確認される一年も前に、農水省が、感染の恐れを指摘する文書を作成していたことを公表。農水省は釈明に追われ、日本農業新聞（三月七日付）が「米国BSE 発生一年前に指摘」と報道。『週刊現代』（四月一日号）も、「武部勤幹事長が握り潰した『狂牛病リポート』」の四四ページの黒塗りページ」と取り上げました。

すべての輸入牛肉に 日本の安全基準の適用を

違反記録を翻訳して分かったのは、米国内で行われているBSE対策の甘い基準に照らしても、米国の食肉処理場では違反行為が繰り返されている実態。日本向けに牛肉を輸出している複数の企業で、違反行為が常習化していました。日本向けの肉に、危険な部位が混ざったのは、「特異的なケース」（米農務省）などではないということが浮き彫りになりました。

すべての牛の危険部位の除去、二十四カ月齢以上の死亡牛の検査、肉骨粉の飼料利用の全面禁止、個体識別制度などです。

世界的にも初めて二十一月齢などの若年齢牛からBSE感染牛が発見されるなど世界的な成果を上げています。

今、日本がおこなっているBSE対策の中心は、全頭検査、



BSE違反記録のコピーを手にする

米政府は、若年齢牛からのBSE検出の困難性を理由に日本の全頭検査を中止させようとしています。一定年齢牛以上のBSE検査にするならば、若年齢牛からの検出の可能性を奪うことになりません。米産産をはじめ、すべての輸入牛肉にも、日本の安全基準を適用させるべきです。

もも野菜も牛肉

アメリカ言いなり政治を変え 安全な食料は日本の大地から

茨城県農民連会長と懇談

紙智子参議院議員は、茨城県農民連会長の大島一明氏を訪ね懇談しました。

い批判があいつぎました。大島会長は「現場から声をあげ、アメリカ言いなりの国の政策を変え、安全な食料は、日本の大地からと力を合わせ

茨城県筑西市は県内でも専業農家が多い地域で、コメ、麦、大豆、小玉スイカなど多様な農業に頑張っています。

て頑張りたい」と語り、紙議員は「みなさんの生の声を質問に反映させます」と応じました。

懇談では、国の減反強制や小規模農家を切り捨てる「品目横断的経営安定策」に厳し



苗代で話しを聞く紙議員（右）と大島さん（その左）

日本共産党
北関東ブロック
事務所ニュース
2006年4月No.34

日本共産党の躍進で 国民の願い実現へ

参議院議員（1期・比例代表）
かみ ともこ
紙智子
群馬 栃木 茨城 埼玉
北関東4県

参院農林水産委員、予算委員、
沖縄北方特別委員、党中央委員
駆ける



国会に送り出していただいたから約五年。日本初のBSEや鳥インフルエンザの発生をはじめ食の安全と農林水産業の課題、米軍ヘリ墜落事件など基地問題や日口領土問題、そして介護保険制度や障害者の制度改革反対にとりくんできました。その中で「政治をうごかすのは国民」であること、その運動としてかり結びついて論戦や活動を行う日本共産党の議席の重さを痛感してきました。国民にさらなる痛みを押し付ける自民党の悪政を変えるために、全力でがんばります。

紙智子のプロフィール

一九五五年札幌市生まれ
北海道女子短期大学工芸美術科卒業
日本民主青年同盟中央委員会副委員長、
日本共産党中央委員会青年学生部、北海道委員会常任委員などを歴任
二〇〇一年七月参院選比例代表で当選
現在●党中央委員、参院農林水産委員、
予算委員、沖縄北方特別委員
家族●夫
趣味●スキー、山歩き、絵画、料理

農家の四人兄妹の末っ子として生まれました。小さい頃は、家でとれた野菜をおかずにし、トマトやスイカを井戸水で冷やして食べるなど、自然のなかで育ちました。高校、短大をつうじては、「バレーボールにかける青春」でした。短大に入ってから実業団のチームに加えていただき、九人制の全道大会で優勝。全国大会にも出場できました。



祖母、母、兄たちと

学生生活のなかで自治会活動に参加。学費の値上げ問題や農家ではやってゆけず離農した両親の苦悩や、悲惨なベトナム戦争をみて社会の仕組みに関心をもちました。学生自治会や民青同盟の活動をつうじて、命がけで戦争反対を貫いた日本共産党を知り、入党。父は「何でお前だけが世の中に逆らうようなことをするんだ。世の中の流れに流れていればいいんだ」と言いながら、一九八六年、はじめて参議院選挙の候補として北海道に帰り、地元で演説をしたとき、応援にたつてくれま

した。「娘たちの目指す社会に早くなってほしい」という父の言葉には、涙があふれてしまいました。国政選挙候補者十五年の活動を通して、みなさんから多くのことを学ばせてもらったことが、いまの活動の力になっています。

私たちも、いっしょに頑張ります



衆議院議員
塩川てつや



参議院議員
大門みきし

紙智子さんは、日本初のBSE問題や、人への伝染も恐れられている鳥インフルエンザ等、食の安全と農林水産業の課題に取り組むかけがえのない議員です。絵画がお得意で、ホームページ掲載のヤマメの絵は清楚な人柄がにじんでいます。北関東ブロックの新しい顔として引きつづき活躍されることを期待しています。



参議院議員
吉川春子

病床から高齢者追い出す医療改悪法案の撤回を要求＝3月24日、参院予算委

国政報告会で国会での取組などを報告＝3月25日、茨城・取手市

医療改悪の問題で保険医協会に申し入れし懇談＝3月13日、埼玉・さいたま市

女性後援会のつどいであいさつ＝3月11日、栃木・宇都宮市

街頭演説のあと集まってくれた人たちと＝3月11日、群馬・伊勢崎市

活動地域
北海道
青森・秋田
岩手・宮城
山形・福島
栃木・茨城
群馬・埼玉

紙智子のホームページ
<http://www.kami-tomoko.jp/>
「紙智子」で検索してください

活動スナップ